

日時 平成 27 年 6 月 29 日(月) 13:30~14:10 出席者 別紙のとおり
場所 浜松市役所 5 階 庁議室

1 開会

2 委員長あいさつ

- ・平成 20 年 11 月に設立した SENA としての活動は、今年度で 8 年目となる。昨年 7 月からは、35 市町村、49 商工会議所・商工会及び 3 県に参加してもらい、新 SENA へ移行し、体制の強化、連携の推進が図られたところである。また、昨年度から事業部会を設置し、検討、作成してきた 3 か年の実施計画の 1 年目であり、事業部会を通じて構成員それぞれの主体的な取り組みを期待している。
- ・三遠南信自動車道の整備及びリニア中央新幹線に関する計画は、それぞれ順調に進捗している状況であるが、もう一つ大事な取り組みとして、「地方創生」に関する取り組みがある。昨年 5 月に発表された増田レポートでは、人口減少がこのまま進むと約 1,800 の基礎自治体のうち、896 の自治体は運営が立ち行かなくなる、いわゆる「消滅可能性都市」になる可能性があるとの指摘がされている。国も、こうした地域の活性化が実現されないと日本の活性化につながらないと考えており、地方の活性化を支援する体制を整えているが、最終的にはそれぞれ地域が知恵を使い、汗をかくという仕組みとなっている。その中で、それぞれの自治体がそれぞれの課題に取り組むだけでなく、地域間の連携を通じて課題の克服に取り組む姿勢を支援することが大切な柱の一つであり、県境を越えた連携が活きる時代になってきた。具体的な事業を進める中では調整事項が多々あるとは思いますが、参加する団体それぞれがメリットを享受できるプラットフォーム作りを目指していきたい。
- ・三遠南信地域連携ビジョンに関し、委員が一堂に会する会議はこの SENA 委員会と三遠南信サミットだけとなるので、この委員会を有意義な会議にしていきたい。

[浜松市企画調整部長より委員会成立事項の確認]

- ・本日の出席者数は委員・代理を合わせて 16 名であり、SENA 規約第 8 条第 6 項の規程により委員の 2 分の 1 以上の出席のため、本日の委員会は成立した。なお、本日の委員会は報道公開し、議事要旨については公開するので、ご了承いただきたい。

[配付資料の確認]

3 議事【議事進行：委員長】

(1) 審議事項（総会決議事項）

審議第 3 号 平成 26 年度 事業報告について

審議第 4 号 平成 26 年度 一般会計歳入歳出決算について

審議第 5 号 平成 27 年度 事業計画（案）について

審議第6号 平成27年度 一般会計歳入歳出補正予算(第1号)(案)について

審議第7号 平成27年度 構成員の負担金(案)について

- ・以上5件の審議案件について、原案どおり総会の決議に付すこととなった。

(2) 決議事項(委員会決議事項)

議案第1号 第23回三遠南信サミット2016 in 東三河の開催(案)について

議案第2号 専門委員会の設置(案)について

議案第3号 監事の選任(案)について

- ・以上3件の議案について、原案どおり決議された。

4 その他

(浜松市)

せっかくの機会であるので、何か意見等はないか。

(飯田市)

本日午前中に開催された三遠南信地域産学官情報交換会の議論の中で、産学官で取り組むことのできる三遠南信地域内の具体的な課題が提示された。そのような課題を放置するのはもったいないので、出された課題をSENA事務局で取りまとめ、取り組んでいってもらいたい。

(アドバイザー代理)

地方創生の仕組みは、県境を越えた広域枠に対する制度が設定されていない。

具体的な提案として、大学間の取り組みとしてインターンシップや産業育成、技術開発に関する取り組みの強化のほか、農産品の海外への販路拡大に三遠南信地域の農産物をパッケージ化して取り組むこと、また東京名古屋間に位置する三遠南信地域の技術力向上に寄与する研究開発機能の拠点づくり、三遠南信地域内の伝統民族芸能に関する日本遺産への取り組みを通じた三遠南信地域内のプラットフォームの強化し、三遠南信として取り組む具体的な事業の推進を図り、また三遠南信地域内にあるネットワークがどのように結びついていくのかということを地方創生の場で打ち出していくべきだという印象を強く受けた。

(委員長)

議論の中で出た意見が具体的な行動に繋がる取り組みということが、SENAの行うべきことであり、事務局で検討してもらいたい。

また、地方創生について広域の枠組みを作るということは大切なことであり、国に提案を行っていききたい。

(豊橋市)

上記の動向を、本年度の三遠南信サミットにおいて提案及び提言として発表できればよいと考えるので、サミット開催地の東三河の職員とSENA事務局と調整させてもらいたい。

(蒲郡商工会議所)

情報の共有化ということで、商工会議所並びに商工会及び市町村の広報の一部を使い、三遠南信地域の他市町村の観光情報を掲載する取り組みを行えば、三遠南信地域に対する住民の認知度の向上にもつながると考えるので、ぜひ進めてもらいたい。

(飯田商工会議所)

7月8日頃、三遠南信自動車道に関する道路予算を含む要望活動を行う。250万流域人口圏の形成には、三遠南信自動車道の開通が非常に重要である。この会議の原点に立ち返り、三遠南信自動車道の建設が促進されるように道路予算の確保へ努力と協力をお願いしたい。

(委員長)

28日にメロンサミットが開催された袋井市を含む遠州地域はマスクメロンの一大産地であり、またお茶など様々な農産品の生産地でもある。それぞれの農産品の海外への販路開拓は、別々に取り組んでも非常に難しい中で、豊橋市が切り開いてくれたルートに、「三遠南信の農産品」をパッケージとして売り込めることは非常に強力な武器となる。こういったことが三遠南信地域内の市町村にメリットを享受できる事業であるので、具体的に進めていきたい。

(飯田市)

浜松市長に全く同感である。三遠南信地域内には特徴的な農産品がたくさんあり、販路拡大等には協働して取り組んでいきたい。

浜松市長が提案された日本遺産を目指す取り組みは、三遠南信地域の伝統文化芸能をいかに保存継承していくかに直結する動きであるので、三遠南信地域で一致結束して取り組みたい。

(委員長)

本日出た提案をサミットまでには、形にしてもらいたい。

5 閉会

【参考資料】

- ・三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）規約および事務局規程
- ・三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）組織体制の概要
- ・平成27年度三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）組織・構成員

三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）委員会 出席者名簿

委員

所属 / 役職名	氏名	備考
浜松市長	鈴木 康 友	SENA 会長・SENA 委員長
豊橋市長	佐原 光 一	SENA 副会長
飯田市長	牧野 光 朗	SENA 副会長
浜松商工会議所会頭	大須賀 正 孝	SENA 副会長 代理 理事・産業振興部長 李屋英夫
豊橋商工会議所会頭	吉川 一 弘	SENA 副会長
飯田商工会議所会頭	柴田 忠 昭	SENA 副会長
磐田市市長	渡部 修	代理 企画部長 酒井宏高
掛川市長	松井 三 郎	代理 企画政策課長 山本博史
新城市市長	穂積 亮 次	欠席
豊根村長	伊藤 実	欠席
下條村長	伊藤 喜 平	欠席
平谷村長	小池 正 充	
袋井商工会議所会頭	豊田 富士雄	代理 専務理事 鈴木満明
掛川商工会議所会頭	川合 和 雄	代理 専務理事 萩原弘悦
静岡県商工会連合会 西遠地区商工会 連絡協議会会長（湖西市商工会会長）	佐原 正 晃	
静岡県商工会連合会 中東遠地区商工会 連絡協議会会長（大東町商工会会長）	若杉 吉 明	欠席
蒲郡商工会議所会頭	小池 高 弘	
田原市商工会会長	河合 利 則	代理 事務局長 小久保伸也
愛知県商工会連合会 新城設楽支部 支部長（新城市商工会会長）	本多 克 弘	欠席
駒ヶ根商工会議所会頭	山浦 速 夫	欠席
長野県商工会連合会 南信州支部 支部長（泰阜村商工会会長）	秦 和陽児	欠席
飯島町商工会会長	下平 陸 昭	欠席
磐田商工会議所会頭	高木 昭 三	
豊川商工会議所会頭	日比 嘉 男	代理 事務局長 長谷川完一郎
愛知県建設部長 （3県交通基盤整備担当部長：輪番制）	市川 育 夫	代理 道路建設課課長補佐 西川武宏
東三河地域研究センター理事長	神野 信 郎	アドバイザー 代理 理事 戸田 敏行

随行者

役職名	氏名
豊橋市企画部長	広田 哲明
豊橋市政策企画課長補佐	角野 洋子
豊橋市秘書課課長補佐	宮下 卓也
豊橋市政策企画課主査	戸崎 真孝
豊橋市政策企画課主事	花井 寿邦
飯田市企画課大学・三遠南信連携係 主事	福澤 英明
豊橋商工会議所専務理事	星野 君夫
飯田商工会議所事業課長	松村 憲
磐田商工会議所事務局長	鈴木 隆之

東三河地域研究センター主任研究員	高橋 大輔
------------------	-------

浜松市企画調整部

役職名	氏名
浜松市企画調整部長	山名 裕
浜松市企画調整部次長兼企画課長	松永 直志

事務局

役職名	所 属	氏 名
事務局長	浜松市企画課大都市制度・広域行政担当課長	藤野 仁
事務局次長	浜松市企画課大都市制度・広域行政グループ	大林 克彦
事務局員	浜松市企画課大都市制度・広域行政グループ	辻 昌孝
事務局員	浜松市企画課大都市制度・広域行政グループ	磯部 由紀子
事務局員	豊橋市政策企画課	野亦 太郎
事務局員	飯田市企画課	竹内 淳

(平成27年6月29日現在)